



WILSON INTEGRATED TRANSDUCER TECHNOLOGY

FUN to LISTEN

X1 GRAND SLAMM series2 / MAXX / SYSTEM 5.1 / WHOW3

Fun to Listen.

ある時は一人で、又ある時は家族と一緒に、濃密で上質な音楽を楽しむ。慈しんできたシステムに灯をともし、その日の最終楽章に相応しい曲をかける。「この曲すてきですね。」妻は微笑みながら呟いた。私は目を閉じてその音楽の中に私自身を埋没させた。ああ、至福の時。デイビッド・ウィルソンさん、素晴らしい音をありがとう。

音楽は文字通り、音を楽しむためのものです。音楽によって私たちの心を癒すことが出来るし、大げさに言えば、私たちの生き方までも影響を与えます。愉しめないで何で音楽が存在する意義があらうか、とも思えるのです。さて、私達は音楽再生に於ては完全に盲目です。それゆえ、音楽情報を出来る限り新鮮に伝えてその場に音楽現場の視覚的イメージを聴き手に伝えるのがスピーカーの役目であり、ソロパフォーマンスから大編成の交響曲までも忠実にクリアに、しかも心の底から沸き上がる感動と興奮を再現する、それが出来てこそ楽しい音楽再生でありましょう。時間と場所を越えての音楽体験、音楽を演奏する度に涙が込み上げるほどの興奮をもたらすスピーカーこそがこれからの主役となろうというものです。

スピーカーに要求する機能は、音楽を見る窓にたとえられます。私達は、CDやLPに刻まれた信号を取り出し、スピーカーによって人間の耳に理解できる音のウェーブに変換します。この過程において演奏状態と異なった不必要な色がついてきては、演奏状況そのものを知らない私達はおおいに惑わされます。もちろんアンプその他の機器にも責任はあるのですが、スピーカーを主体として考えると、共振を抑制し極めて正確でこちよく再生する能力が要求されますが、これは大変難しい。演奏家の意図を知り心を打たれるような優れた音場再生ができなければ、再生音楽は楽しくないし、極言すればスピーカーの存在意義はなくなってしまいます。デザイナーの鋭敏な感性に加え、音への愛情と知識、手間と時間をかけ材料吟味や開発においても、妥協せずにつくらなければ、納得できるスピーカーは

できないのです。

D.ウィルソンは医療機器メーカーのエンジニアをしていた頃から音楽をこよなく愛し、優れた録音のレコードを作るという理想に燃えていました。良き理解者であると共に厳しい批評家である愛妻、シェリル・ウィルソンの存在により、音楽愛好家且つオーディオエンジニアとしては理想的な家庭を築きました。そして録音を開始するや否や、厳しい判断基準を持つモニタースピーカーの必要性に迫られたのです。ウィルソンの厳しい要求を満たすために世界一厳しく正確な、そして聴いて楽しい(音楽製作の仕事に苦痛は厳禁です)モニタースピーカー「WAMM」を製作しました。これがウィルソンスピーカーの原点です。ついでながら、この極めて個人専用の色彩の強いWAMMは、発表するや大きな反響を起し、その高価格にも関わらず現在までに50人ほどのオーナーがいるという伝説のスピーカーなのです。ウィルソンから発表されるスピーカー全てはこのWAMMの性能を基準として音造りがなされているのです。現在はアカデミー賞受賞作品を始めとする映画制作モニターにも使用され、その実力は高く評価されています。

スピーカーの話に戻ります。音楽をみる窓としてあくまで透明で遠方まで見渡し、見通しがきくように限りなく透明でなくてはなりません。演奏者の熱気が手に取るように分かり、その場の情景を聴き手の前に再現する、それがウィルソンの言う透明度の高いスピーカーなのです。その目的達成のために、特に次の点に注意を払いました。

1: 共振

エンクロージャはスピーカーデザインに見合った低共振性素材を独自に開発、更に特許取得による独特のクロスブレイシングを内部に施した上でエンクロージャの共振スポットに重鉛板を配置し、徹底した共振対策を行ないました。

2: ネットワーク

エンクロージャの中はドライバーによって空気が動かされ、強い風が吹き荒れています。ネットワーク構成部品のコンデンサーは、強い風にふ

かれるとマイクロフォニック効果によりコンデンサー自体が発振します。この微小なレベルでの発振が窓をくもらせます。1/1000の精度を保證する高品質材料の選別はもとより、そのカプセルケース、設置位置などを十分吟味した上で設計しています。トゥイーターには個別にチューニングしたチューブトラップを付け、振動板がおこすバックウェーブの干渉を徹底して排除しました。これにより、トゥイーターの振動板はそれ自体の振動のみを空気に伝え、後方に放射した音波の影響を受けず、歪みのない爽やかな音質が得られたのです。

3: サウンドステージ(位相)

サウンドステージの再生には、時間軸位相の整合された再生が要求されます。位相が乱れると奥行き、楽器の位置、全体の明瞭な見通しがゆがみ、録音状況をありのままに再現できなくなります。演奏家、録音家の音楽解釈、その音質、音楽再現に対する作曲家の意図というアカデミックで繊細な問題を決定するには、その録音を正しい音色、諧調で再現しなくてはなりません。ドライバーから発せられた音はどの帯域の音も同時に聞き手に到達してもらいたいのです。さらに言えば、時間軸特性が狂うと音の輪郭が汚れ、にじみ、結果として楽器の音色、定位、奥行きまで変形してしまいます。ウィルソンでは正しい位相再生のために、ネットワークの厳格な品質管理と同時に、演奏における楽器の位置関係再現するために、各ユニットを選別、測定し、その誤差を非常にシビアな許容範囲に抑え完璧なマッチングを得ています。決して効率の良い作業ではありませんが、正しいステレオイメージと、音源の位置再生を得るための必要なプロセスは省略するわけにはいきません。

4: フォルム

楽器に触れる、又、演奏家がそこにいるという実在感を得るためトランジェント、ディケイタイム(音の立ち上がり、立ち下がり)の改善を図るべくバツフル効果を排除した特異なフォルムのエンクロージャを考案しました。加えて、再生音の諧調、すなわち色で例えるならば、黒と白の

間にどのくらい細かく微妙な形でグレーが存在するか、と言うダイナミックシェーディングの表現力が大切です。スピーカーとは、正しい音階バランス、音色を備えていることは勿論、細かくスムーズで緻密なダイナミックシェーディング、時間的特性から見た位相の整合、最弱音の録音レベルを下回る微弱な、耳には聞こえないニュアンスをも再生されなければなりません。この目標設定と結果が正しいフォルムであることは、WATTの成功の後に現われたWATTコピー機の多さからご理解頂けるでしょう。

5:仕上げ

スピーカーを室内に持ち込む以上、細心の注意を払ってその仕上げに取り組むことは当然、とシエリル ウィルソンは言います。そのために自動車の塗装施設を工場内に組み込み、高級車と同等のペイント処理、鏡面仕上げを行います。インテリアに合わせてウィルソングロスペイントから好みのカラーをお選びいただけることも、ウィルソンの心配りの現れです。

各ユニットとエンクロージャに関しては測定とヒアリングの両面から追い込み、特に厳しい評論を行なうD.ウィルソン自身によって最適のチューニングがなされております。この点は、いかなるスピーカーメーカーでも真似のできないところでしょう。なぜなら、最終的な判断は、優れた人間の耳に委ねられるからに他なりません。

X-1 GRAND SLAMM series 2

プロジェクトX-1はその開発に当たりディビッドウィルソンが全知全能を注ぎ周波数特性とサウンドステージの再現性において、音楽を完全に見通せるスピーカーに仕上げました。X-1 series 2は厳しい音楽マニア、オーディオファイルのための超精密スピーカーです。従って、音圧レベルで聴き手を驚かしたり、一度にたくさんの聴衆に音を聞かせる性質ではありません。あくまで高品質の音楽再生を一番大切なオーナーの方にお届けすることを目的として開発したものです。ウィルソンオーディオでは、エンクロージャの材質の開発から着手しました。所謂箱鳴きは陳腐化された古いキャビネット固有の物としても、徹底的にエンクロージャによる付帯音を避けるため、今までスピーカーにとって理想とされていたMDFをも遠く凌ぐ共振特性とセトルタイ

ムの短縮された材料をブリガムヤング大学の化学、音楽の教授陣とともに開発。その加工には、ダイヤモンドブレードをもってしても一回0.04ミリの深さにはしか切削できず、工程にはフルに7日間を要求する超硬度な材質となりました。又、位相特性を妥協無く満足するために、WAMMに取り入れたクリティカルアライメント手法を応用し中高音ユニットのモジュール位置を調整、ほとんどの使用条件でオーナーにご満足頂ける位相整合性を得るシステムとして完成度を高めております。

各ユニットはミッドレンジを除いてウィルソンベックOEM特注品で、それを厳密にマッチングさせ、再現されるべきサウンドステージの正確さを達成しています。

ネットワークは非常に贅沢な高品質部品を1/1000の許容差で選別し、ネットワークによる音像の乱れ、帯域バンドの圧縮を避け、あくま

で透明でのびやかな、そして正確でエモーショナルな再生音を実現しております。

MAXX

X-1 series 2の良さをそのまま縮小、比較的狭いリスニングルームでもX-1の魅力味わうために開発されました。もちろん一切の妥協はありません。ウィルソン伝統のミッドハイユニットとウーファーユニットを分離し、エンクロージャ共振のドライバーへの影響を避けたことでクリアな音質を得ています。また、ミッドハイユニットは一体で、3機のドライバーはそれぞれ独立したチェンバーを持っています。さらに、傾斜角度を変化させることにより、リスナーとの距離に応じて最適位相を得られることが出来ます。追い込んで行くにつれ非常にハイスピードでしかも繊細な音楽演奏情景が目の前に浮かびます。ウーファーは口径こそ違え、X-1 series 2と同



MAXX

color=Cashmere Beige

仕様のウィルソン独自の特殊ダンピングを施した強力マグネットタイプ。X-1を12気筒エンジンに例えれば、MAXXは8気筒のスポーツカーを思わせる気持ちの良いライズタイム特性を見せてくれます。ミッドハイユニットはシステム5と同様に腰のあるボディーで爽やかなドライバーを仮想同軸構造で使用しています。ロッキーの爽やかな青空をわたる風を彷彿とさせる、中型スピーカーの理想がここに実現されたと言えます。

System 5.1

録音技師ウィルソンはたった一度の録音チャンスしかないロケーション録音の良否をストレートに判断できるモニターの必要性からWATTを生み、ヨーロッパでのレコーディングを終えました。と同時にそのスピーカーを使ってハイファイ再生が出来ないか、という要望がウィルソンレコードのファンたちからもち上がって来、ついに

87年シカゴCESで発表したのがWATT-1です。以来4回の改良を経、ハイスピードウーファーを追加し、22kHzの高域から28Hzの低音までをも明瞭にハイスピードでストレートに再生するシステムスピーカーとなりました。アンプ、マイク、ケーブルの性能をも判断するスピーカーと評価され、厳しい選択眼を持つオーディオファイルをはじめとし、多数のハイエンドオーディオメーカー、映画製作現場や映画のレコーディングエンジニア、メジャーレーベルのミュージシャンのモニターによっても使用されています。最近ではタイタニックをはじめとするハリウッド映画、三大テノールの一人の個人用スピーカーとして使用されていることでも話題になりました。まさに、ウィルソンスピーカーのトップバッターです。

WHOW-3

ウィルソンオーディオにはWAMMという超弩級

システムがあります。身を揺るがすような超低音をWAMMのそれに少しでも近づくようにシステム5で再生したい、そのような要望に対するウィルソンからの回答が、WHOW-3です。綿密な設計と試聴を繰り返して完成したエンクロージャにアクティブクロスオーバーを用意、50Hz以下の超低域をWHOW-3に受け持たすことによって、空気感、コンサートホールそのものの質感を再現。録音された室内環境がリスナーの眼前に浮かび上がり、音楽の中に埋没することができるのです。15Hzまでの超低域がシステム5のハイスピードな再生音と見事にブレンドし、今までのサブウーファーからは想像もできない程、明晰でクリーンな透明度の高い音楽を再生します。さらに、クロスオーバーを使用せずハイエンドサラウンドシステムに応用すれば、素晴らしい音質効果は映像の臨場感を飛躍的に高めます。これからの5.1マトリックス、DTS等の新フォーマットにも柔軟に対応し、応用範囲は大きく広がります。

以上のように、ウィルソンスピーカーシステムが世界のオーディオファイルや高度な音質を目指すプロの製作現場から絶賛されている理由がお分かりいただけると思います。優れた録音の古いレコードも、生々しく、明瞭に、しかも演奏家、作曲家の意図したニュアンスを豊かにリスニング空間に再生します。今までのソースから全く新たな感動を覚えた、といううれしいご感想を寄せてくださるウィルソンオーナーの方々も多くいらっしゃいます。良いスピーカーは音楽のジャンルを選びません。録音の新旧も選びません。保存された音楽に生命の息吹を吹き込み、演奏家を蘇らせるような再生を、貴殿がウィルソンスピーカーとともに体験されるよう願っております。音楽は色彩を持つと言われています。光り輝く黄金色のシンバル、爽やかな緑の風を連想させるハーブ、オレンジの香り豊かなバイオリンの調べ、突然黒雲の中に光り出す稲妻のようなティンパニー、どっしりとした母なる大地を思い起こさせるベース、紫色のベルベットの様なチェロのうねり、音楽は作曲家により、表現により、その色彩を変え、スピーカーはその音楽に寄り添って変幻自在に演奏する。これこそデヴィッド・ウィルソンの理想とする音楽再生です。



System 5.1
WATT 5 & PUPPY 5.1
color=Cashmere Beige



X-1
GRAND SLAMM
series 2
color=El Dorado

FUN to LISTEN

X1 GRAND SLAMM series2
MAXX / SYSTEM 5.1
WHOW3

Specifications

X-1 Grand Slamm series 2

ユニット	Woofers=38cm×1・30cm×1 Mid Range=17cm×2 Tweeter=2.5cm×1 Ambient Tweeter=2.5cm×2
能率	97dB (2.83v at 1m)
周波数特性	19.5Hz~22.5kHz (-3dB)
アンプ最小出力	20w/ch
外寸	1829mm (H) × 419mm (W) × 648mm (D)
重量	260kg/ch
インピーダンス	Nominal 8ohm

MAXX

ユニット	Woofers=30cm×1・25cm×1 Mid Range 17cm×2 Tweeter 2.5cm×1
能率	92dB (2.83v at 1m)
周波数特性	20Hz~21kHz (-3dB)
アンプ最小出力	7w/ch
外寸	1600mm (H) × 432mm (W) × 559mm (D)
重量	180kg/ch
インピーダンス	Nominal 8ohm

SYSTEM-5.1

ユニット	Woofers 20cm×2 Mid Range 17cm×1 Tweeter 2.5cm×1
能率	93dB (2.83v at 1m)
周波数特性	28Hz~21kHz (-3dB)
アンプ最小出力	10w/ch
外寸	991mm (H) × 285mm (W) × 419mm (D)
重量	72.8kg/ch
インピーダンス	Nominal 4ohm

WHOW-3

ユニット	Woofers 38cm×1
能率	96dB (2.83v at 1m)
周波数特性	15Hz~50Hz (-3dB)
アンプ最小出力	20w/ch
外寸	445mm (H) × 1001mm (W) × 749mm (D)
重量	204kg
インピーダンス	Nominal 5ohm



Colors (グロスペイント)



※Puapy-5.1の標準仕様はラミネートブラック仕上げとなります。グロスペイント仕上げは別料金となります。

※このカタログに記載の仕様、規格及び外観等は改善のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。※図面の色彩は印刷インキや撮影条件などにより、実際の色と異なって見える場合があります。※この製品を正しく安全にご使用いただくため、必ず製品に付属の「取扱説明書」をよくお読みください。